

はじめに

*SCAFFOLDING English Composition and Grammar*は初級・中級の英作文テキストです。「英語はしゃべりたいけれど、英文法は苦手、まして英作文なんてとても無理」と半ばあきらめ気分になっている人は多いと思います。せっかく英語を勉強するのでから自由に英語を話したい、書きたいと思うのは当然のことでしょう。しかし、そのためにはやはり十分な「基本練習」の積み重ねが必要です。

オリンピックに出場するような、すぐれた選手でも、はじめから強いわけではありません。繰り返し、繰り返し地道な基本練習を積み重ねているのだと思います。英語の学習もまったく同じではないでしょうか。皆さんもあきらめずに、取り組んでください。

テキストの構成は全24ユニット、各ユニット4ページとなっています。内容は英作文のための基本文法項目を確認して、そのあと復習・練習問題の形式で英作文を学びます。

各ユニットの前半は英作文に必要な基本英文法解説になっています。例文はみなさんが理解しやすい平易ものとなっています。また、《Grammar Focus》は学習者が陥りやすい問題点に焦点をあてた学習ユニットの文法内容を概説してあります。そして、基本文法例文には必要に応じてワンポイント・アドバイス (👉) を掲載してあります。参考にしてください。

後半の《Exercises》は選択肢・穴埋め・誤文訂正・書き換え問題などの豊富な出題形式になっています。前半の基本英文法解説を参考にすると容易に取り組める問題となっています。練習問題がわからないときは常に前半の解説を参考にして英作文に取り組んでください。

テキストのタイトルにある、scaffoldとは、ビルの工事現場などで見かける鉄パイプ等でできた「足場」の意味です。建物を築き上げるためにはしっかりとした、scaffolding（足場作り）が必要です。本テキストが英作文という工事をする時に皆さんの*SCAFFOLDING*になることを願っています。

最後になりましたが、本書の作成にあたっては株式会社成美堂の松本健治氏に多大な労をおっていただきました。ここに感謝の意を表します。

2008年

オリンピックの夏

著者一同

CONTENTS

.....

Unit 1	文の主語	2
Unit 2	注意すべき名詞の用法	6
Unit 3	冠詞の使い方	10
Unit 4	誤用の多い代名詞	14
Unit 5	使い方を誤りやすい動詞	18
Unit 6	基本時制の用法	22
Unit 7	進行形と完了形 (1)	26
Unit 8	進行形と完了形 (2)	30
Unit 9	法助動詞の意味と用法	32
Unit 10	使役の表現	36
Unit 11	受動態を使用する場合の留意点	40
Unit 12	準動詞の用法 (1)	44
Unit 13	準動詞の用法 (2)	48
Unit 14	形容詞の使い方	52
Unit 15	注意すべき副詞の用法	56
Unit 16	比較表現	60
Unit 17	否定表現	64
Unit 18	関係詞の用法 (1)	68
Unit 19	関係詞の用法 (2)	72
Unit 20	仮定法の用法	76
Unit 21	前置詞の意味と用法	80
Unit 22	接続詞の機能	84
Unit 23	時制の一致と話法	88
Unit 24	強調と倒置	92



Unit 1 文の主語



Grammar Focus

英訳をする場合、英語の主語としてどのような語句を用いたらよいか問題になる。英語の主語は必ずしも日本語の主語と同一であるとは限らない。それどころか、両者が異なる場合が非常に多いのである。次に、主語の選定についてのポイントをいくつかあげてみよう。

A. 英語の主語が日本語の主語と同じ場合

- (1) 英語の主語として名詞・代名詞・不定詞・動名詞・名詞節などが用いられるもの。

- | | |
|--|-------|
| 1. Mr. Johnson is from New York. | 〈名詞〉 |
| 2. He left the hospital last week. | 〈代名詞〉 |
| 3. To know oneself is difficult. | 〈不定詞〉 |
| 4. Swimming is good for the health. | 〈動名詞〉 |
| 5. What you say is quite true. | 〈名詞節〉 |

- (2) 形式主語の *it* が不定詞・動名詞・名詞節などをうけるもの。

- | | |
|--|--------|
| 1. It is important <i>to choose</i> good friends. | 〈不定詞〉 |
| 2. It is great fun <i>picking</i> flowers. | 〈動名詞〉 |
| 3. It doesn't matter <i>whether he comes or not</i> . | 〈名詞節〉 |
| 4. It was Nancy <i>that [who] made the salad</i> . | 〈強調構文〉 |

B. 英語の主語が日本語の主語と異なる場合

- (1) 日本語の補語にあたる語句が英語の主語になるもの：英語の主語として *ambition*, *dream*, *wish*, *this* などがよく用いられる。

- | |
|--|
| 1. His ambition is to become a writer. (作家になるのが彼の夢だ) |
| 2. My wish was to travel around the world. |
| 3. This is the magazine I told you about last week. (先週あなたにお話した雑誌がこれなんです) |

- (2) 日本語の目的語が英語の主語になるもの：この用法は主として受動態の文に限られる。

- | |
|--|
| 1. Wine is sold at that store. (あの店ではワインを売っている) |
| 2. Beef is not eaten in this country. |
| 3. Is Russian taught at your university? |

- (3) 日本語の主語が、英語では**副詞（句）**に変わるもの：today, tomorrow, next week, this summerのような時を表す語句が用いられる。

1. I have nothing to do **today**. (きょうは何もすることがない)
2. I'll be at home **tomorrow afternoon**.
3. It has been very cold **this winter**.

C. 「～には...がある」の表現

この日本語を表す英語の構文には、[**There is [are]** + **主語** + **副詞句**〈場所など〉] と [**主語** + **have [has]** + **名詞**] の2つがある。

1. **There is** a church on the hill.
Cf. The church is on the hill. [***There is** the church...は不可]
2. February **has** 28 days. (=There are 28 days in February.)

D. 無生物主語

日本語では、「彼の突然の訪問が彼女を驚かせた」のような言い方は非常に堅い文体でしか用いられない。ところが、英語では、無生物または抽象名詞を主語にした構文がよく用いられる。この構文には、**条件・譲歩・原因・理由・時**などを表すものがある。

1. **That bus** will take you to Ueno Park. 〈条件〉
(=If you take that bus, you will get to Ueno Park.)
2. **The result** did not please him very much. 〈原因〉
(=He was not very much pleased with the result.)
3. **Illness** prevented me from attending the meeting. 〈理由〉
(=I couldn't attend the meeting because of illness.)
4. **This song** always reminds me of Italy. 〈時〉
(=When I hear this song, I always think of Italy.)

E. 主語のない日本語の英訳

日本語には主語のない文が数多く見いだされるが、これらの文を英訳するとき、主語に適切な**人称代名詞**を用いなければならない。

1. We should obey our parents. (両親には従うべきだ)
2. Where did you buy that bag? — I bought it at Maruzen.
3. **They** say it's going to be a mild spring.

EXERCISE 1

① 次の各文を、() 内の語句を主語にして書きかえなさい。

1. He wishes to retire at fifty. (His wish)
2. The box has many papers. (There are)
3. You need those tools for this job. (What)
4. To live without water is impossible. (It)

② 次の各文を、無生物主語を用いて英訳しなさい。

1. 雨のため、私たちは釣りに行けなかった。
2. その知らせを聞いたら、私の父はとても喜ぶでしょう。
3. この写真を見ると、私はいつも故郷のことを思い出す。

③ 日本文の意味を表すように、次の各文の() 内に適語を入れなさい。

1. ブラジルでは何語を話しますか。
What language () () () in Brazil?
2. 農場で働くのはとても楽しかった。
() () great fun () on the farm.
3. あの列車に乗れば高山へ行けます。
That train () () () to Takayama.
4. どちらの側が勝とうと私にはどうでもよいことだ。
It doesn't () to me () side ().
5. いなかに住むのが私のたった1つの望みだった。
My only () was () () in the country.
6. 来週の金曜日までにこの本を読み終えなければならない。
This book () () () by next Friday.

④ 次の各文の（ ）内の語を並べかえて、文を完成しなさい。

1. What (like / is / golf / best / I / playing).
2. Reading (a / in / bad / is / habit / bed).
3. We must (a / gasoline / not / match / near / strike).
4. It is (of / baseball / a / collecting / lot / cards / fun).

⑤ 次の各文の誤りを正しなさい。

1. They can see the moon at night.
2. Yesterday was rainy.
3. There is the pear in the basket.

⑥ 次の各文を英訳しなさい。

1. 幼い子供たちに英会話を教えるのが彼女の夢だった。
2. おばが私の誕生日のために買ってくれたのは、このフランス人形でした。
3. 列車が出るまでに15分くらいあったので、私はキオスクに新聞と週刊誌を買いに行った。(before the train left / or so)
4. ぼくが数日前に買った漫画本はこれなんだよ。——読み終わったら、その本を貸してくれない? (when you have read it / Will you ...?)
5. あなたといっしょにコンサートに行けないのは残念です。私は来週は仕事でとても忙しいんですよ。(I'm sorry)
6. 英語で日記を書くことは私にとって非常にやっかいです。いつも辞書で単語を調べなければなりませんからね。(difficult / all the time)
7. 「はしごの下を歩いたり、屋内でかさをさすと不運になる」。このような迷信がアメリカに存在するという事実は、アメリカ人が迷信深い国民であることを意味しない。(will bring / a superstitious people)